

# メディキットエクステンションチューブ

## 再使用禁止

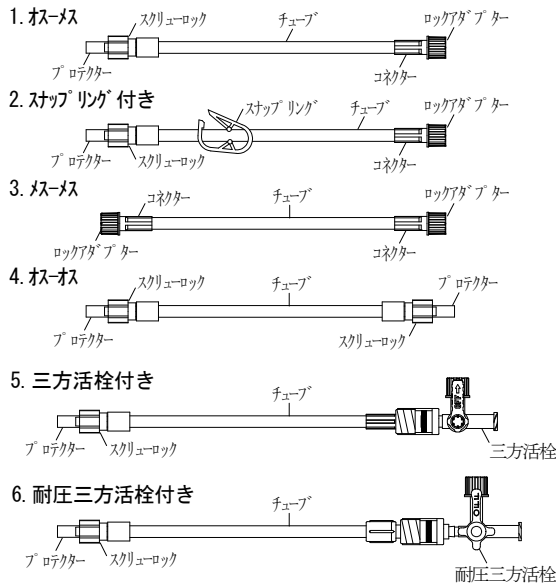
### 【禁忌・禁止】

#### <使用方法>

- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止

### 【形状・構造及び原理等】

#### <各部の名称> (代表図)



本品はポリ塩化ビニル[可塑剤: フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)]を使用している。

### <材質>

チューブ、コネクター : ポリ塩化ビニル  
三方活栓、耐圧三方活栓 : ポリカーボネート、ポリエチレン

### <製品仕様>

チューブ規格	外径	内径
MT-1	2.5 mm	1.3 mm
MT-3	5.3 mm	3.4 mm
AE-B	3.4 mm	1.5 mm
AE-C	5.2 mm	2.2 mm

### 【使用目的又は効果】

留置針、カテーテルなどとチューブを接続して治療、診断を行うときその間に連結して、適当な長さを持つことが出来る延長チューブである。

### 【使用方法等】

1. 包装を開封する。
2. ロックアダプター及びプロテクターを外す。
3. 留置針、血液回路等と接続する。

### 【使用上の注意】

#### \*\* <重要な基本的注意>

- ・チューブが折れ曲がらないようにテーピングすること。
- ・鉗子でクランプする場合、鉗子の根元でクランプしないこと。[チューブを傷つける恐れがある。]
- ・接続部に薬液(アルコール、消毒液、局所麻酔剤等の薬剤、油性の造影剤など)の付着は避けること。
- ・包装に耐圧の記載があるものでは、耐圧以上の設定を行わないこと。
- ・本品は可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出する恐れがあるので、注意すること。
- ・三方活栓とコネクターを接続するときは過度に締め付けないこと。
- ・三方活栓から脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、三方活栓のひび割れについて注意すること。[薬液により三方活栓にひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性がある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じる可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
- ・使用中は三方活栓の破損、接合部のゆるみ及び薬液漏れ等について、定期的に確認すること。
- ・三方活栓のひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

#### \*\* <不具合・有害事象>

本品の使用により、以下のような不具合・有害事象が発生する恐れがある。

#### 重大な不具合

気泡の混入、回路の離脱、漏れ、破損、破裂

#### 重大な有害事象

空気塞栓症、感染症

### 【保管方法及び使用期間等】

#### <保管方法>

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

#### <有効期間>

包装の使用期限を参照。(自己認証による)

### \* 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: 東郷メディキット株式会社  
住所: 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川17148-6  
電話番号: 0982-53-8000

販売業者: メディキット株式会社  
住所: 〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目13番2号  
電話番号: 03-3839-0201

